

## 採択理由

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進  
課題名：「細胞と代謝」の基盤研究を担う若手育成  
代表者名：安西 祐一郎  
所属機関名：慶應義塾大学

---

## コメント

時限付き競争的研究スペースを提供する Type J 制度や英語による若手の成果発表会 COEX (COE, coexistence (共存), expanding horizons (視野の拡張) からの連想語) Meeting 等の学内の既存システムを活用することによって、効率的に若手研究者の育成を図る点が評価された。「細胞と代謝」という世界的な研究テーマを掲げる一方、「既存の研究を雛形とせず、新しい技術やコンセプトを持ち込む若手研究者を募る」という斬新な方針は評価できる。研究環境も潤沢であり、若手研究者の研究成果が十分に期待できる。

なお、テニユアポストが本制度に最適な職となるよう検討し、学内全体の改革に繋がるように、実施期間終了後も本取組を継続していただきたい。

### 【採択条件】

現行計画案の、テニユア・トラックの若手研究者が 6 名、テニユア枠を 3 名では、費用対効果が相対的に低く、実施期間終了後の事業の継続性にも疑問が残る。テニユア率に留意しつつ、コストを削減し、テニユア・トラックへの採用人数を増やしてミッションステートメントに明記すること。